

# 第 130 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 3 年 11 月 4 日(木) 15：30～16：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

### ・会議の概要

#### <報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

#### <その他>

- ◇ 文化観光スポーツ部、おきなわ彩発見キャンペーン（第 4 弾）の開始について報告があった。

## 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、平敷 秘書防災統括監、平田 財政統括監、宮城 企画部長、松田 環境部長、金城 県警警備第二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、下地 農政企画統括監、島袋 土木建築部長、友利産業雇用統括監、宮城文化観光スポーツ部長、大城 会計管理者、佐次田 教育管理統括監、玉山 病院事業統括監、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

## 2 報告事項

### (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 11/3 の新規発生 6 名、合計 50,243 名、入院中 10 名、うち重症 0 名、うち中等症 8 名、入院調整 16 名、宿泊施設療養中 21 名、自宅療養 43 名で療養中患者計 119 名となっている。

### (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】

11/3 時点、米軍基地内で 0 名。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料3、3-1~3-11】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
  - ✓ 療養者数及び新規感染者数は第3段階にある。
  - ✓ 感染経路不明な症例の割合は第2段階にある。
  - ✓ 病床占有率、重症者用病床占有率、新規PCR検査の陽性率は第1段階にある。
  - ✓ 国の判断指標では、入院率がステージIV相当となっている。
  - ✓ その他の療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数、感染経路不明割合、PCR陽性率については、ステージI or II相当となっている。
  - ✓ 医療ひっ迫に関する指標で見ると、入院率は悪化、重症者数、中等症者数、自宅療養者数及び入院等調整中の数の合計値は減少となっている。
  - ✓ 10月以降の病床占有率、重症者用病床占有率の数値は、令和3年の中で最も低いレベルで推移している。
  - ✓ 直近1週間の人口10万人あたりの新規陽性者数は、3.10で、全国ワースト5位の状況。
  - ✓ 各市町村については感染拡大の基準である、人口10万人あたりの新規陽性者数25人を超えた自治体は確認されていない。ただし、浦添市、うるま市では先週よりも新規陽性者数が増加している。
  - ✓ 10/24の週の飲食店が推定感染源となっている感染者数は、4人となっており、先週から1名増加している。
  - ✓ 先週に引き続き、移入例の陽性者は確認されていない。
  - ✓ 沖縄県疫学統計・解析委員会の報告によると、直近の実効再生産数は沖縄本島0.54、宮古0.69、八重山0.17となっている。
  - ✓ 9、10月の新規陽性者のうち、ワクチン未接種者が82.4%となっている。
  - ✓ 一方、ブレイクスルー感染者（2回接種者で感染した者）が9.8%となってお

り、年齢の上昇に伴って、ブレイクスルー感染者の割合も増えている。ただし、年齢が高い人の接種率が高いことを考慮する必要がある。

- ✓ 今週の陽性者数については、減少もしくは横ばいで推移すると推定される。

#### (4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊施設の運用状況について報告。
  - ✓ 那覇市は3カ所が稼働しており、合計12人が療養中である。
  - ✓ 中部では1カ所が稼働しており、6人が療養中である。
  - ✓ 他の地域については、宮古で1人、八重山で2人が療養中となっている。

#### (5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
  - ✓ 空港エリアはほぼ横ばい、繁華街エリア、商業エリアでは増加となっている。

#### (6) クラスターの発生状況について【資料6】

- 総括情報部から、クラスター発生状況について報告。
  - ✓ 10月は那覇市の運動施設、石垣市の社会福祉施設でクラスターの発生があった。
  - ✓ これまでクラスター発生状況については、クラスターの収束以降に発表を行っていたが、必要性に応じて発生初期の段階でも公表できるよう調整を進めている。

#### (7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料7】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
  - ✓ 直近1週間の陽性者は1名となっている。
  - ✓ 当該陽性者の濃厚接触者について検査したところ、陰性が確認されている。

- ✓ 現在は第6波に備え、人員等の体制整備に取り組んでいる。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
  - ✓ 直近1週間の陽性者は1名となっている。
  - ✓ 障害者施設で発生したクラスターについては、大半の陽性者が療養解除となっている。
  - ✓ 当該施設については、通常体制への移行に備え、事例の振り返り、講習会等を実施する予定となっている。
  - ✓ また、第6波に備え、二次離島からの搬送等について検討を進めているところである。

#### (8) PCR 検査事業の状況について【資料8】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
  - ✓ エssenシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、10/25～10/29 は、保育施設関係者 310 人が受検した結果、陽性者は確認されなかった。
  - ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、10/23～10/29 は 3,336 人が受検した結果、陽性者 7 人、陽性率 0.21%であった。
  - ✓ 飲食店検査の実績について、10/22～10/29 は 225 人が受検した結果、陽性者は 1 名、陽性率 0.44%であった。
  - ✓ モニタリング検査の実績について、10/18～10/24 は、2,586 人が受検した結果、陽性者は確認されなかった。
  - ✓ 学校 PCR 検査の実績については 214 人（6 校）が受検した結果、陽性者は確認されなかった。

#### (9) ワクチン対策チーム進捗状況報告について【資料9】

- 総括情報部から、住民向けワクチン接種進捗状況等について報告。

- ✓ 11/1 時点で1回目のワクチン接種が完了した人は1,004,882人となっており、接種率（県全体）は67.7%となっている。
- ✓ 11/1 時点で2回目のワクチン接種が完了した人は、959,062人となっており、接種率（県全体）は、64.6%となっている。
- ✓ 11/7 に、那覇市と協力し、那覇メインプレイスにおいてワクチン接種を実施する予定となっている。
- ✓ 10 月末時点でのワクチン接種率は67.5%となっており、目標には2.5%届いていないものの、ワクチン接種を希望した方の大半に接種が行われたものと推測される。
- ✓ 一方、希望する全ての県民に接種するためには、70%の目標達成後も継続して接種体制を維持し、接種を行う必要がある。
- ✓ そこで、今後も市町村における個別接種が継続されるほか、県が設置する広域ワクチン接種センターも11/12から再開し、ワクチン接種を進めていく予定である。
- ✓ 12 月以降については、引き続き市町村を補完し、モデルナワクチンの接種機会を提供するため、モデルナセンター（仮称）の設置を検討していく。
- ✓ なお、追加接種（3回目）については、国の情報を踏まえ、市町村と連携しながら検討を進める。

#### （10）空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの運用状況等について【資料10】

- 文化観光スポーツ部から、空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCAの状況について報告。
- ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、10/25の週は1,192名に検査を行ったところ陽性者は1名であった。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、10/25の週は410名に検査を行ったところ陽性者

は確認されなかった。

- ✓ TACO について、10/25 の週のサーモグラフィー通過者は 165,656 人で、その内発熱者は0人であった。
- ✓ RICCA について、10/29 時点の登録者数は 118,661 人となっている。

#### (11) 各部局の取組状況等について【資料11】

##### ➤ 総括情報部から、教育部の取組について紹介。

- ✓ 「リバウンド防止と社会経済活動の両立期間」における部活動の取扱いについて、次の内容を各県立学校長等に対し通知した。
- ✓ 体調に異変を感じる者が出た場合、抗原簡易キットを活用する等感染症対策に努める。
- ✓ 早朝練習の時間も含め、平日2時間以内、土日祝日は3時間以内で練習することができるものとする。
- ✓ 土日祝日は、昼食を挟むことのないよう時間を設定するものとする。
- ✓ 県内外での合宿・遠征は行わない。
- ✓ 県外大会へ参加する際は、PCR検査等を受検する（ワクチン接種2回終了している場合はその限りではない）。

#### (12) その他報告事項について

##### ➤ 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。

- ✓ 11/4 時点の県立病院の入院患者数は4人となっており、県立病院の新型コロナ病床の稼働率は6.3%となっている。
- ✓ 中部病院から第6波に備えて、医療従事者、施設の職員及び入所者に3回目のワクチン接種が必要との意見があった。
- ✓ 南部医療センター・子ども医療センターでは、現在のところ入院患者はいない

ものの、発生時に即応できるよう8床を確保しているとの報告があった。

(報告(1)～(12)に関する発言等)

- ✓ 第5波の振り返り等について国から指示があった件について質問があった。  
→総括情報部から、厚労省から第5波を踏まえ、第6波が来た際の予想患者数、入院者数等の整理とその根拠、対応策を提示するよう求められており、各保健所と連携しながら作業を進めていることを説明。
- ✓ 11月以降の国内主要空港における無料PCR検査の状況について質問があった。  
→文化観光スポーツ部から、国内主要空港における無料PCR検査については、10月末までとなっており、11月以降も継続するよう国に要請していること、水際対策のあり方について、国と引き続き調整していくことを説明。
- ✓ ワクチン接種率(2回目)が60%に達していない自治体があるが、これらの自治体についてどのような働きかけを行っているか質問があった。  
→総括情報部から、10月に県内自治体に対して接種促進に関する協力依頼の文書を送付したほか、接種率が低い自治体については個別にヒアリングを実施する等の取組を実施していること、県も広域ワクチン接種センターを再開し、自治体の支援をしていくことを説明。

### 3 その他

(1) おきなわ彩発見キャンペーン(第4弾)の開始について

- 文化観光スポーツ部から、おきなわ彩発見キャンペーン(第4弾)の開始について説明。

#### ◆ 概要

- ✓ 観光関連事業者の支援を目的として、国が都道府県の域内旅行需要喚起策に対して補助する「地域観光事業支援」について、R3.8.16付けで交付決定を

受けている（約 62 億円）。

- ✓ 同補助金を活用して、「おきなわ彩発見キャンペーン（第 4 弾）」の開始に向けて準備を進めており、以下の手続を経て事業を開始する。

- ① 11/4（木）庁議
- ② 11/5（金）臨時議会招集告示、議会運営委員会
- ③ 11/8（月）議案説明会、質問通告〆切
- ④ 11/9（火）本会議、委員会

#### ◆ 事業実施スケジュール

- ✓ 本キャンペーンの実施に当たっては、「リバウンド防止と社会経済活動の両立期間（沖縄県対処方針）」をはじめ、各種感染防止対策の取組みとの整合を図りつつ、ワクチン接種・検査陰性証明（以下「ワクチン接種証明等」という。）を活用し、感染抑止を行いながら、段階的な経済回復を目指す。
- ✓ 第 1 段階として 11/15（予定）から、同一島内の旅行についてキャンペーンの利用を開始する。
- ✓ 第 2 段階として、11/26（予定）から、島を跨ぐ旅行についてもキャンペーンの利用を開始する。
- ✓ なお、感染状況が悪化した（ステージⅢ相当となることが危惧されると判断される）場合は、エリアを限定して、または、県全体のキャンペーンを停止する等、迅速かつ柔軟に対応する。

#### ◆ ワクチン接種・検査陰性証明の活用について

- ✓ 同一島内における旅行については、5 人以上の旅行の場合にワクチン接種・検査陰性証明の提示を要件とする。
- ✓ 島を跨ぐ旅行については、修学旅行を除く全ての旅行について、ワクチン接種・検査陰性証明の提示を要件とする。

#### ◆ ステージ判断について

- ✓ 本県の医療提供体制等の状況は、第2回新型コロナウイルス感染症対策分科会（令和3年4月15日）の提言における「ステージ判断のための指標」のうち、入院率を除くすべての指標が、ステージⅢ相当の指標を大きく下回っている。
- ✓ このため、総合的にみてステージⅡ相当と判断しており、地域観光事業支援（おきなわ彩発見キャンペーン（第4弾））の実施基準を満たしている。

#### 4 閉 会